

平成19年度

(2007年度)

町田市の財政

- ・ 普通会計決算状況
- ・ 財 務 諸 表

平成20年12月

町田市財務部財政課

はじめに

地方公共団体の財政は、一般家計と同じように収入（歳入）と支出（歳出）で構成されています。町田市の財政は、その歳入と歳出が計上される一般会計（行政の一般的な歳入、歳出を経理する）と9つの特別会計（一つの目的を持った事業の収支を一般会計とは切り離し、単独で経理する）から成り立っています。

この一般会計や特別会計は、地方公共団体によって会計の設定や内容が異なるため、自治体間の比較が困難です。そこで、総務省の定めた全国統一の基準をもって再構成し、財政状況の把握、地方財政全体の分析を可能にしたのが普通会計と公営事業会計です。

町田市の平成19年度普通会計決算額は、歳入・歳出とも前年度を上回り、財政規模がさらに拡大しました。市税が前年度同様増収の傾向にある一方で、義務的経費の増大により財政の硬直化が進んでいます。また、少子高齢社会の進展に伴う社会保障経費の増大など、今後も引き続き厳しい財政運営を強いられるものと予想されています。

本書では、平成19年度の決算状況について、普通会計の数値を用いて経年比較や対前年度比較、他市との比較を行うことにより、町田市の財政の現状をお知らせしていきます。

なお、今後も、市財政の状況について、よりわかりやすい情報の提供に努めるとともに、分析結果の活用方法などもさらに研究を進め、行財政運営に生かしていきたいと考えています。

